

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. 先進国セレクト債券マザーファンドの受益証券 2. 新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券
	先進国セレクト債券マザーファンド	先進国通貨建ての債券
	新興国セレクト債券マザーファンド	新興国通貨建ての債券
ベビーファンドの運用方法	①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、外貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②以下の方針を基本として運用を行ないます。 イ. 先進国通貨建ての資産と新興国通貨建ての資産への投資割合をおおむね6対4とします。 ロ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。 ハ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。 ニ. 投資対象とする債券は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。 ③マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ④マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	先進国セレクト債券マザーファンドの株式組入上限比率 新興国セレクト債券マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

世界セレクト債券ファンド (毎月決算型)

運用報告書(全体版)	
第89期	(決算日 2017年 2 月20日)
第90期	(決算日 2017年 3 月21日)
第91期	(決算日 2017年 4 月20日)
第92期	(決算日 2017年 5 月22日)
第93期	(決算日 2017年 6 月20日)
第94期	(決算日 2017年 7 月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第94期の決算を行ないました。

ここに、第89期～第94期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3114>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド(円換算)		公 社 債 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
65期末(2015年 2月20日)	9,499	60	△ 2.6	14,979	△ 0.3	15,583	△ 0.2	96.1	203
66期末(2015年 3月20日)	9,128	60	△ 3.3	14,913	△ 0.4	15,034	△ 3.5	96.2	190
67期末(2015年 4月20日)	9,172	60	1.1	14,867	△ 0.3	15,321	1.9	95.7	191
68期末(2015年 5月20日)	9,277	60	1.8	14,940	0.5	15,687	2.4	96.1	189
69期末(2015年 6月22日)	9,219	60	0.0	15,198	1.7	15,456	△ 1.5	96.9	182
70期末(2015年 7月21日)	9,052	60	△ 1.2	15,108	△ 0.6	15,443	△ 0.1	97.8	171
71期末(2015年 8月20日)	8,692	60	△ 3.3	15,380	1.8	14,530	△ 5.9	97.8	161
72期末(2015年 9月24日)	7,800	60	△ 9.6	14,922	△ 3.0	13,427	△ 7.6	96.5	143
73期末(2015年10月20日)	8,077	60	4.3	15,014	0.6	14,148	5.4	96.6	146
74期末(2015年11月20日)	8,219	60	2.5	15,030	0.1	14,325	1.3	96.7	148
75期末(2015年12月21日)	7,761	60	△ 4.8	14,895	△ 0.9	13,644	△ 4.8	96.8	137
76期末(2016年 1月20日)	7,223	60	△ 6.2	14,459	△ 2.9	12,802	△ 6.2	93.6	125
77期末(2016年 2月22日)	7,173	60	0.1	14,216	△ 1.7	12,831	0.2	89.0	115
78期末(2016年 3月22日)	7,326	60	3.0	14,211	△ 0.0	13,655	6.4	93.5	117
79期末(2016年 4月20日)	7,313	60	0.6	14,064	△ 1.0	13,839	1.3	97.9	112
80期末(2016年 5月20日)	6,907	60	△ 4.7	13,996	△ 0.5	13,243	△ 4.3	96.8	106
81期末(2016年 6月20日)	6,697	60	△ 2.2	13,484	△ 3.7	12,927	△ 2.4	96.1	102
82期末(2016年 7月20日)	6,722	60	1.3	13,725	1.8	13,532	4.7	95.6	103
83期末(2016年 8月22日)	6,491	60	△ 2.5	13,157	△ 4.1	13,298	△ 1.7	97.1	95
84期末(2016年 9月20日)	6,349	60	△ 1.3	13,158	0.0	13,191	△ 0.8	96.7	93
85期末(2016年10月20日)	6,439	60	2.4	13,167	0.1	13,548	2.7	96.9	93
86期末(2016年11月21日)	6,365	60	△ 0.2	13,445	2.1	13,323	△ 1.7	92.8	91
87期末(2016年12月20日)	6,620	60	4.9	14,129	5.1	14,247	6.9	95.4	92
88期末(2017年 1月20日)	6,444	60	△ 1.8	14,026	△ 0.7	14,214	△ 0.2	96.0	87
89期末(2017年 2月20日)	6,488	60	1.6	13,772	△ 1.8	14,387	1.2	95.8	85
90期末(2017年 3月21日)	6,547	60	1.8	13,777	0.0	14,748	2.5	95.9	85
91期末(2017年 4月20日)	6,243	60	△ 3.7	13,548	△ 1.7	14,417	△ 2.2	96.2	80
92期末(2017年 5月22日)	6,386	40	2.9	14,138	4.4	14,916	3.5	96.5	81
93期末(2017年 6月20日)	6,508	40	2.5	14,186	0.3	15,224	2.1	96.1	78
94期末(2017年 7月20日)	6,627	40	2.4	14,392	1.5	15,473	1.6	96.5	79

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド（円換算）は、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

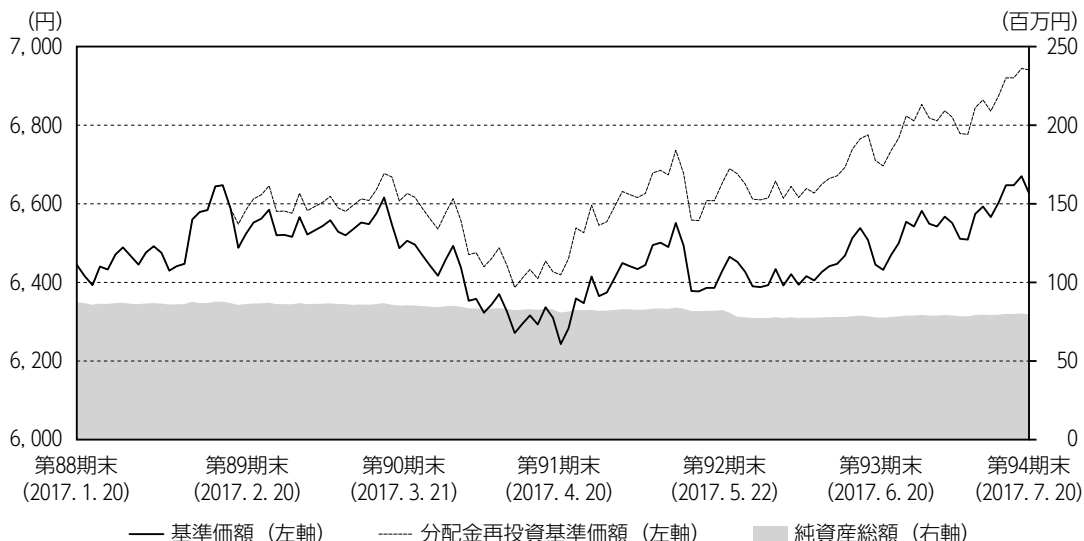
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第89期首：6,444円

第94期末：6,627円（既払分配金300円）

騰 落 率：7.7%（分配金再投資ベース）

■ 組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
先進国セレクト債券マザーファンド	3.5%
新興国セレクト債券マザーファンド	16.4%

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や、メキシコ・ペソやカナダ・ドルなどが円に対して上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 組 債 比 入 率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第89期	(期首) 2017年 1 月20日	円 6,444	% —	14,026	% —	14,214	% —	% 96.0
	1 月末	6,467	0.4	13,858	△ 1.2	14,272	0.4	96.0
	(期末) 2017年 2 月20日	6,548	1.6	13,772	△ 1.8	14,387	1.2	95.8
第90期	(期首) 2017年 2 月20日	6,488	—	13,772	—	14,387	—	95.8
	2 月末	6,521	0.5	13,762	△ 0.1	14,502	0.8	95.6
	(期末) 2017年 3 月21日	6,607	1.8	13,777	0.0	14,748	2.5	95.9
第91期	(期首) 2017年 3 月21日	6,547	—	13,777	—	14,748	—	95.9
	3 月末	6,493	△ 0.8	13,717	△ 0.4	14,862	0.8	95.8
	(期末) 2017年 4 月20日	6,303	△ 3.7	13,548	△ 1.7	14,417	△ 2.2	96.2
第92期	(期首) 2017年 4 月20日	6,243	—	13,548	—	14,417	—	96.2
	4 月末	6,374	2.1	13,863	2.3	14,745	2.3	96.7
	(期末) 2017年 5 月22日	6,426	2.9	14,138	4.4	14,916	3.5	96.5
第93期	(期首) 2017年 5 月22日	6,386	—	14,138	—	14,916	—	96.5
	5 月末	6,388	0.0	14,090	△ 0.3	14,958	0.3	96.5
	(期末) 2017年 6 月20日	6,548	2.5	14,186	0.3	15,224	2.1	96.1
第94期	(期首) 2017年 6 月20日	6,508	—	14,186	—	15,224	—	96.1
	6 月末	6,549	0.6	14,421	1.7	15,258	0.2	95.9
	(期末) 2017年 7 月20日	6,667	2.4	14,392	1.5	15,473	1.6	96.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 1. 21 ~ 2017. 7. 20)

■海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、当作成期間を通して、カナダでは金利が上昇した一方、米国などでは金利は低下しました。第89期首より、金利はおおむね方向感のない推移となりました。2017年4月以降は、シリアや北朝鮮の情勢に対する警戒感が強まったことや、トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑への懸念が高まったことなどから、金利はおおむね低下傾向となりました。しかし6月下旬以降は、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で、カナダをはじめとした債券市場の金利は上昇しました。

・新興国

新興国債券市場では、米国のトランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり、保護主義への懸念が後退したことや先進国の金融政策をめぐる思惑、また個別国要因が相場を動かす材料となりました。

トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから金利は低下しました。

■為替相場

・先進国

先進国為替相場は、当作成期間を通して、米ドルは対円で下落した一方、カナダ・ドルなどは対円で上昇しました。第89期首より、米国の貿易赤字解消を積極的にめざすトランプ大統領の姿勢から米ドル高への警戒感が強まったことなどを受けて、米ドルは下落傾向となった一方で円は上昇傾向となりました。2017年4月半ばからはいったん円安傾向となりましたが、その後は再度、円高傾向となりました。6月中旬以降は、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で内外の金利差が拡大傾向となったことなどから、円は下落傾向となった一方でカナダ・ドルや豪ドルなどは上昇傾向となりました。

・新興国

新興国為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが新興国通貨への需要につながり、多くの通貨が対円で上昇しました。特にメキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから大きく上昇しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

マザーファンドの組入比率については、標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることを基本とします。

マザーファンドの組入比率の合計は90%程度以上を維持する方針です。

■先進国セレクト債券マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%）に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させます。

ポートフォリオの修正デュレーションについては、3（年）～7（年）程度の範囲内で柔軟に変動させます。

■新興国セレクト債券マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2017. 1. 21 ~ 2017. 7. 20)

■当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資しました。各組入比率については、当作成期間中の標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることをめざしました。

■先進国セレクト債券マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%）に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させました。

当作成期間の債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3（年）～7（年）程度の範囲内で変動させました。

■新興国セレクト債券マザーファンド

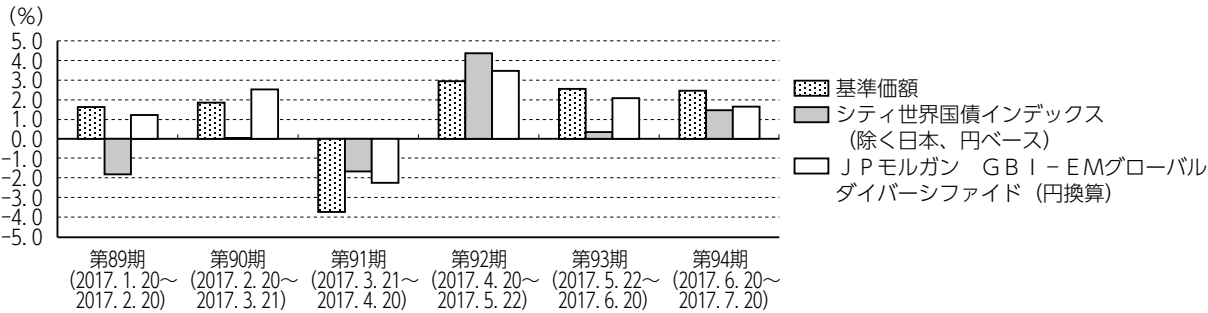
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替相場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。当作成期間については、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±25%程度の範囲内で変動させました。

当作成期間の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1 万口当り分配金（税込み）は、第89期～第91期はそれぞれ60円、第92期～第94期はそれぞれ40円
といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2017年 1 月21日 ～2017年 2 月20日	2017年 2 月21日 ～2017年 3 月21日	2017年 3 月22日 ～2017年 4 月20日	2017年 4 月21日 ～2017年 5 月22日	2017年 5 月23日 ～2017年 6 月20日	2017年 6 月21日 ～2017年 7 月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	40	40	40
対基準価額比率（％）	0.92	0.91	0.95	0.62	0.61	0.60
当期の収益（円）	30	29	23	31	29	30
当期の収益以外（円）	29	30	36	8	10	9
翌期繰越分配対象額（円）	330	299	263	254	244	234

（注 1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注 2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注 3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	30.43円	29.29円	23.47円	31.49円	29.79円	30.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	22.62	22.88	23.12	23.34	23.49	23.59
(d) 分配準備積立金	337.56	307.75	276.81	240.07	231.42	221.11
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	390.62	359.92	323.41	294.91	284.71	274.83
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	330.62	299.92	263.41	254.91	244.71	234.83

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

次期作成期間のマザーファンドの組入比率については、標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることを基本とします。

マザーファンドの組入比率の合計は90%程度以上を維持する方針です。

■先進国セレクト債券マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%）に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させます。

ポートフォリオの修正デュレーションについては、3（年）～7（年）程度の範囲内で柔軟に変動させます。

■新興国セレクト債券マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第89期～第94期 (2017. 1. 21～2017. 7. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	45円	0. 695%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 472円です。
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0. 300)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(24)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 銀 行 ）	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	10	0. 162	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0. 131)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0. 028)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0. 858	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年1月21日から2017年7月20日まで)

決 算 期	第 89 期 ～ 第 94 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
先進国セレクト債券 マザーファンド	—	—	4,279	6,483
新興国セレクト債券 マザーファンド	—	—	6,797	7,585

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第89期～第94期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第 88 期 末	第 94 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
先進国セレクト債券 マザーファンド	34,440	30,161	47,555
新興国セレクト債券 マザーファンド	33,309	26,511	31,806

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年7月20日現在

項 目	第 94 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
先進国セレクト債券マザーファンド	47,555	59.2
新興国セレクト債券マザーファンド	31,806	39.6
コール・ローン等、その他	943	1.2
投資信託財産総額	80,305	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.91円、1カナダ・ドル＝88.81円、1オーストラリア・ドル＝89.05円、1イギリス・ポンド＝145.72円、1トルコ・リラ＝31.78円、1メキシコ・ペソ＝6.37円、1南アフリカ・ランド＝8.65円です。

(注3) 先進国セレクト債券マザーファンドにおいて、第94期末における外貨建純資産（47,423千円）の投資信託財産総額（47,568千円）に対する比率は、99.7%です。
新興国セレクト債券マザーファンドにおいて、第94期末における外貨建純資産（31,309千円）の投資信託財産総額（31,816千円）に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月20日)、(2017年3月21日)、(2017年4月20日)、(2017年5月22日)、(2017年6月20日)、(2017年7月20日) 現在

項 目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
(A) 資産	86,554,437円	86,740,095円	82,824,809円	82,489,303円	79,002,540円	80,305,766円
コール・ローン等	1,303,079	1,282,228	1,272,793	1,007,844	937,620	943,703
先進国セレクト債券 マザーファンド（評価額）	50,834,676	50,756,241	48,351,840	49,018,679	46,762,325	47,555,742
新興国セレクト債券 マザーファンド（評価額）	34,416,682	34,701,626	32,117,996	32,462,780	31,302,595	31,806,321
未収入金	—	—	1,082,180	—	—	—
(B) 負債	896,306	884,329	1,953,570	616,668	572,212	575,615
未払収益分配金	792,158	786,854	777,265	512,861	482,029	481,258
未払解約金	—	—	1,077,736	—	—	—
未払信託報酬	103,559	96,335	96,888	101,551	87,431	91,095
その他未払費用	589	1,140	1,681	2,256	2,752	3,262
(C) 純資産総額（A－B）	85,658,131	85,855,766	80,871,239	81,872,635	78,430,328	79,730,151
元本	132,026,406	131,142,470	129,544,211	128,215,362	120,507,352	120,314,668
次期繰越損益金	△ 46,368,275	△ 45,286,704	△ 48,672,972	△ 46,342,727	△ 42,077,024	△ 40,584,517
(D) 受益権総口数	132,026,406口	131,142,470口	129,544,211口	128,215,362口	120,507,352口	120,314,668口
1万口当り基準価額（C／D）	6,488円	6,547円	6,243円	6,386円	6,508円	6,627円

* 第88期末における元本額は135,411,824円、当作成期間（第89期～第94期）中における追加設定元本額は576,838円、同解約元本額は15,673,994円です。

* 第94期末の計算口数当りの純資産額は6,627円です。

* 第94期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は40,584,517円です。

世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）

■損益の状況

	第89期 自2017年1月21日 第90期 自2017年2月21日	至2017年2月20日 至2017年3月21日	第91期 自2017年3月22日 第92期 自2017年4月21日	至2017年4月20日 至2017年5月22日	第93期 自2017年5月23日 第94期 自2017年6月21日	至2017年6月20日 至2017年7月20日
項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(A) 配当等収益	△ 7円	△ 1円	△ 3円	△ 3円	△ 1円	△ 1円
支払利息	△ 7	△ 1	△ 3	△ 3	△ 1	△ 1
(B) 有価証券売買損益	1, 478, 637	1, 654, 850	△ 3, 063, 521	2, 445, 937	2, 049, 488	1, 998, 096
売買益	1, 671, 746	1, 708, 238	38, 822	2, 466, 406	2, 098, 374	1, 999, 525
売買損	△ 193, 109	△ 53, 388	△ 3, 102, 343	△ 20, 469	△ 48, 886	△ 1, 429
(C) 信託報酬等	△ 104, 148	△ 96, 886	△ 97, 429	△ 102, 126	△ 87, 927	△ 91, 605
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	1, 374, 482	1, 557, 963	△ 3, 160, 953	2, 343, 808	1, 961, 560	1, 906, 490
(E) 前期繰越損益金	△ 41, 238, 689	△ 40, 350, 619	△ 39, 064, 437	△ 42, 523, 411	△ 38, 223, 215	△ 36, 668, 062
(F) 追加信託差損益金	△ 5, 711, 910	△ 5, 707, 194	△ 5, 670, 317	△ 5, 650, 263	△ 5, 333, 340	△ 5, 341, 687
(配当等相当額)	(298, 670)	(300, 115)	(299, 571)	(299, 352)	(283, 087)	(283, 916)
(売買損益相当額)	(△ 6, 010, 580)	(△ 6, 007, 309)	(△ 5, 969, 888)	(△ 5, 949, 615)	(△ 5, 616, 427)	(△ 5, 625, 603)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 45, 576, 117	△ 44, 499, 850	△ 47, 895, 707	△ 45, 829, 866	△ 41, 594, 995	△ 40, 103, 259
(H) 収益分配金	△ 792, 158	△ 786, 854	△ 777, 265	△ 512, 861	△ 482, 029	△ 481, 258
次期繰越損益金 (G + H)	△ 46, 368, 275	△ 45, 286, 704	△ 48, 672, 972	△ 46, 342, 727	△ 42, 077, 024	△ 40, 584, 517
追加信託差損益金	△ 5, 711, 910	△ 5, 707, 194	△ 5, 670, 317	△ 5, 650, 263	△ 5, 333, 340	△ 5, 341, 687
(配当等相当額)	(298, 670)	(300, 115)	(299, 571)	(299, 352)	(283, 087)	(283, 916)
(売買損益相当額)	(△ 6, 010, 580)	(△ 6, 007, 309)	(△ 5, 969, 888)	(△ 5, 949, 615)	(△ 5, 616, 427)	(△ 5, 625, 603)
分配準備積立金	4, 066, 502	3, 633, 218	3, 112, 799	2, 969, 001	2, 665, 877	2, 541, 508
繰越損益金	△ 44, 722, 867	△ 43, 212, 728	△ 46, 115, 454	△ 43, 661, 465	△ 39, 409, 561	△ 37, 784, 338

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注 4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用：47, 472円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(a) 経費控除後の配当等収益	401, 871円	384, 151円	304, 127円	403, 754円	359, 066円	362, 376円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	298, 670	300, 115	299, 571	299, 352	283, 087	283, 916
(d) 分配準備積立金	4, 456, 789	4, 035, 921	3, 585, 937	3, 078, 108	2, 788, 840	2, 660, 390
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5, 157, 330	4, 720, 187	4, 189, 635	3, 781, 214	3, 430, 993	3, 306, 682
(f) 分配金	792, 158	786, 854	777, 265	512, 861	482, 029	481, 258
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4, 365, 172	3, 933, 333	3, 412, 370	3, 268, 353	2, 948, 964	2, 825, 424
(h) 受益権総口数	132, 026, 406口	131, 142, 470口	129, 544, 211口	128, 215, 362口	120, 507, 352口	120, 314, 668口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	60円	60円	60円	40円	40円	40円
(単 価)	(6, 488円)	(6, 547円)	(6, 243円)	(6, 386円)	(6, 508円)	(6, 627円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

先進国セレクト債券マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2017年7月20日)

(計算期間 2017年1月21日～2017年7月20日)

先進国セレクト債券マザーファンドの第16期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
運 用 方 法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②以下の方針を基本として運用を行ないます。 イ、投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。 ロ、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。 ハ、投資対象とする債券は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10% 以下

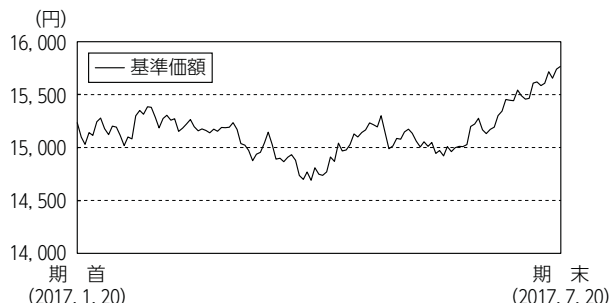
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) (参考指数)		公社債 組 入 比 率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %	
(期首) 2017年 1月20日	15,235	—	14,026	—	98.5
1月末	15,179	△ 0.4	13,858	△ 1.2	98.1
2月末	15,184	△ 0.3	13,762	△ 1.9	97.8
3月末	15,146	△ 0.6	13,717	△ 2.2	97.5
4月末	14,978	△ 1.7	13,863	△ 1.2	97.6
5月末	15,055	△ 1.2	14,090	0.5	97.7
6月末	15,448	1.4	14,421	2.8	97.4
(期末) 2017年 7月20日	15,767	3.5	14,392	2.6	98.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (轉換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,235円 期末：15,767円 騰落率：3.5%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や、カナダ・ドルや豪ドルなどが円に対して上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、期を通して、カナダでは金利が上昇した一方、米国などでは金利は低下しました。期首より、金利はおおむね方向感のない推移となりました。2017年4月以降は、シリアや北朝鮮の情勢に対する警戒感が強まったことや、トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑への懸念が高まったことなどから、金利はおおむね低下傾向となりました。しかし6月下旬以降は、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で、カナダをはじめとした債券市場の金利は上昇しました。

○為替相場

為替相場は、期を通して、米ドルは対円で下落した一方、カナダ・ドルなどは対円で上昇しました。期首より、米国の貿易赤字解消を積極的にめざすトランプ大統領の姿勢から米ドル高への警戒感が強まったことなどを受けて、米ドルは下落傾向となった一方で円は上昇傾向となりました。2017年4月半ばからはいったん円安傾向となりましたが、その後は再度、円高傾向となりました。6月中旬以降は、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で内外の金利差が拡大傾向となったことなどから、円は下落傾向となった一方でカナダ・ドルや豪ドルなどは上昇傾向となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%) に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させます。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3 (年) ~ 7 (年) 程度の範囲内で柔軟に変動させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%) に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3 (年) ~ 7 (年) 程度の範囲内で変動させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%) に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させます。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3 (年) ~ 7 (年) 程度の範囲内で柔軟に変動させます。

先進国セレクト債券マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	23 (20) (3)
合 計	23

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債					(2017 年 1 月 21 日から 2017 年 7 月 20 日まで)	
			買 付 額	売 付 額		
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 12 (—)		
	カナダ	地方債証券	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 7 (—)		
	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 39 (—)		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債				(2017 年 1 月 21 日から 2017 年 7 月 20 日まで)	
買 付		当 期		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額		
	千円		千円		
		EUROPEAN INVESTMENT BANK（国際機関）6% 2020/8/6	3,272		
		United States Treasury Note/Bond（アメリカ）1.75% 2023/5/15	875		
		ONTARIO PROVINCE（カナダ）3.15% 2022/6/2	636		
		United States Treasury Note/Bond（アメリカ）0.75% 2017/12/31	553		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				末	残存期間別組入比率		
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入 比			
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 62	千アメリカ・ドル 62	千円 7,002	% 14.7	% —	% 13.3	% 1.4	% —
カナダ	千カナダ・ドル 88	千カナダ・ドル 92	8,225	17.3	—	—	17.3	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 235	千オーストラリア・ドル 267	23,785	50.0	—	4.4	45.6	—
イギリス	千イギリス・ポンド 51	千イギリス・ポンド 54	7,886	16.6	—	10.7	—	5.9
合 計	—	—	46,900	98.6	—	28.4	64.4	5.9

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	2023/05/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	8.7500	55	54	6,085	2020/08/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	5	6	680	2044/08/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券		2	2	236	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			62	62	7,002	
カナダ		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.1500	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	8,225	2022/06/02
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄			88	92	8,225	
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.5000	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル		2023/04/21
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.0000	20	23	2,081	2020/08/06
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.2500	15	16	1,475	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券		200	227	20,228	2021/06/08
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			235	267	23,785	
イギリス		United Kingdom Gilt	国債証券	8.7500	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	2,792	2017/08/25
		United Kingdom Gilt	国債証券	2.2500	19	19	5,093	2023/09/07
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄			51	54	7,886	
合 計	銘柄数 金 額	9銘柄					46,900	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年 7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	46,900	98.6
コール・ローン等、その他	667	1.4
投資信託財産総額	47,568	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.91円、1カナダ・ドル＝88.81円、1オーストラリア・ドル＝89.05円、1イギリス・ポンド＝145.72円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（47,423千円）の投資信託財産総額（47,568千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年 7月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	47,568,005円
コール・ローン等	268,263
公社債（評価額）	46,900,922
未収利息	398,820
(B) 負債	10,800
その他未払費用	10,800
(C) 純資産総額（A－B）	47,557,205
元本	30,161,567
次期繰越損益金	17,395,638
(D) 受益権総口数	30,161,567口
1万口当り基準価額（C／D）	15,767円

* 期首における元本額は34,440,634円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は4,279,067円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）30,161,567円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,767円です。

先進国セレクト債券マザーファンド

■損益の状況

当期 自2017年1月21日 至2017年7月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,063,487円
受取利息	1,063,505
支払利息	△ 18
(B) 有価証券売買損益	580,095
売買益	1,210,159
売買損	△ 630,064
(C) その他費用	△ 74,789
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,568,793
(E) 前期繰越損益金	18,030,943
(F) 解約差損益金	△ 2,204,098
(G) 合計 (D + E + F)	17,395,638
次期繰越損益金 (G)	17,395,638

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

新興国セレクト債券マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2017年7月20日)

(計算期間 2017年1月21日～2017年7月20日)

新興国セレクト債券マザーファンドの第16期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての債券
運 用 方 法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②以下の方針を基本として運用を行ないます。 イ、投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。 ロ、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。 ハ、投資対象とする債券は、各国*の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。 ※新興国に限るものではありません。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

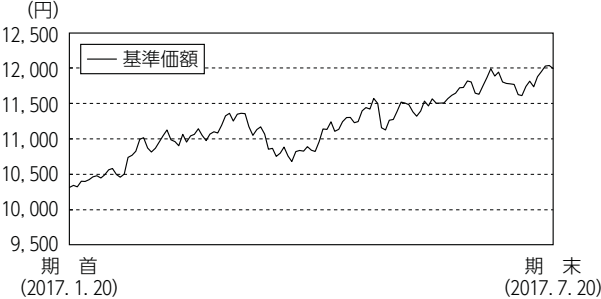
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J P M オルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組 入 比 率
	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年 1月20日	円 10,311	% —	14,214	% —	% 93.4
1月末	10,476	1.6	14,272	0.4	94.0
2月末	10,960	6.3	14,502	2.0	93.7
3月末	11,170	8.3	14,862	4.6	94.4
4月末	11,135	8.0	14,745	3.7	96.5
5月末	11,321	9.8	14,958	5.2	95.5
6月末	11,806	14.5	15,258	7.3	94.9
(期末) 2017年 7月20日	11,997	16.4	15,473	8.9	94.5

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) J P M オルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J P M オルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P M オルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (轉換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,311円 期末：11,997円 騰落率：16.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や価格の上昇、投資している通貨が対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市場では、米国のトランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり、保護主義への懸念が後退したことや先進国の金

融政策をめぐる思惑、また個別国要因が相場を動かす材料となりました。

トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから金利は低下しました。

○為替相場

対円為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが新興国通貨への需要につながり、多くの通貨が対円で上昇しました。特にメキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから大きく上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替相場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。当期については、基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±25%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	19 (15) (4)
合 計	19

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2017 年 1 月 21 日から 2017 年 7 月 20 日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千トルコ・リラ 51	千トルコ・リラ —
外 国	トルコ	国債証券	(—)	(—)
		特殊債券	—	(—)
	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 506 (—)
		南アフリカ	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 264 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) (—)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2017 年 1 月 21 日から 2017 年 7 月 20 日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Turkey Government Bond (トルコ) 7.1% 2023/3/8	千円 1,601	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7.75% 2023/2/28 Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2018/12/13 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	千円 2,076 1,134 922 673 426

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表
(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作 成 期	当 期				期 末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
トルコ	千トルコ・リラ 320	千トルコ・リラ 301	千円 9,568	30.1 %	— %	20.7 %	6.5 %	2.9 %
メキシコ	千メキシコ・ペソ 1,800	千メキシコ・ペソ 1,952	12,436	39.1	—	22.9	—	16.2
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 1,020	千南アフリカ・ランド 930	8,045	25.3	—	25.3	—	—
合 計	—	—	30,049	94.5	—	68.9	6.5	19.1

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

新興国セレクト債券マザーファンド

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末			
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ		Turkey Government Bond	国債証券	10. 5000	千トルコ・リラ 65	千トルコ・リラ 64	千円 2, 063	2020/01/15
		Turkey Government Bond	国債証券	6. 3000	30	29	932	2018/02/14
		Turkey Government Bond	国債証券	7. 1000	60	52	1, 654	2023/03/08
		Turkey Government Bond	国債証券	8. 8000	120	112	3, 570	2023/09/27
		Turkey Government Bond	国債証券	9. 0000	45	42	1, 347	2024/07/24
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄						
					320	301	9, 568	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	10. 0000	千メキシコ・ペソ 650	千メキシコ・ペソ 772	4, 921	2024/12/05
		Mexican Bonos	国債証券	7. 7500	550	552	3, 516	2017/12/14
		Mexican Bonos	国債証券	8. 5000	250	255	1, 626	2018/12/13
		Mexican Bonos	国債証券	7. 7500	350	372	2, 371	2042/11/13
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄						
					1, 800	1, 952	12, 436	
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7. 0000	千南アフリカ・ランド 130	千南アフリカ・ランド 107	931	2031/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7. 7500	250	246	2, 136	2023/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8. 7500	640	575	4, 978	2048/02/28
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄						
					1, 020	930	8, 045	
合 計	銘柄数 金 額	12銘柄					30, 049	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年 7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	30, 049	94. 4
コール・ローン等、その他	1, 766	5. 6
投資信託財産総額	31, 816	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=31.78円、1メキシコ・ペソ=6.37円、1南アフリカ・ランド=8.65円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（31,309千円）の投資信託財産総額（31,816千円）に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年 7月20日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	31, 816, 189円
コール・ローン等	1, 156, 406
公社債（評価額）	30, 049, 911
未収利息	587, 184
前払費用	22, 688
(B)負債	10, 800
その他未払費用	10, 800
(C)純資産総額（A－B）	31, 805, 389
元本	26, 511, 896
次期繰越損益金	5, 293, 493
(D)受益権総口数	26, 511, 896口
1万口当り基準価額（C／D）	11, 997円

* 期首における元本額は33,309,369円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は6,797,473円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）26,511,896円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,997円です。

■損益の状況

当期 自2017年 1月21日 至2017年 7月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,451,354円
受取利息	1,451,446
支払利息	△ 92
(B) 有価証券売買損益	3,649,268
売買益	3,961,122
売買損	△ 311,854
(C) その他費用	△ 55,633
(D) 当期損益金 (A + B + C)	5,044,989
(E) 前期繰越損益金	1,036,843
(F) 解約差損益金	△ 788,339
(G) 合計 (D + E + F)	5,293,493
次期繰越損益金 (G)	5,293,493

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。